

# 夢の素材、 カーボンナノチューブ

## らせん型2種 選別成功

髪の毛の1万分の1の細さで炭素が筒状につながった「カーボンナノチューブ」から、構造が右巻き、左巻きのものを選択的に取り出すことに滋賀医大の小松直樹・准教授（有機化学）らが成功した。巻く方向による性質の違いを調べることで、「夢の素材」に新たな用途が加わる可能性がある。14日のネイチャー・ナノテクノロジー電子版に発表される。

カーボンナノチューブを作ると、炭素の環のつながり方でアームチェア型、ジグザグ型、らせん型の3つの構造ができる。らせん型は右巻きと左巻きが同じ割

### 道へ分析の違いの性質 大医賀滋

合で含まれ、これを分けて取り出す技術はなかった。

小松准教授らは、左右のらせん構造にくつつきやすい「分子ピンセット」をそれぞれ設計。これらを混ぜた液にカーボンナノチューブを溶かし、上澄み液から左右のどちらかを多く含むものを取り出した。

カーボンナノチューブは極小半導体など様々な応用が期待されている。